

「総ぐるみ」新聞

NPO 総ぐるみ福祉の会事務所は日限山4・44・23（八四六一八八五〇）
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」日限山4・7・1

特別養護老人ホーム「恒春の丘」と

介護老人保健施設「リハパーク舞岡」見学会報告

十月十四日、社会福祉法人親善福祉協会が、今年の二月に舞岡町の丘の上に開設した、標記二施設の見学会を行い、二十名の参加者がありました。この親善福祉協会は、泉区で特別養護老人ホーム「恒春の郷」を、すでに二〇年運営している社会福祉法人です。

◆特別養護老人ホーム「恒春の丘」

ここは、ユニット式の特別養護老人ホーム（以下特養）で、個室が二三〇室、ショートステイ用居室が一〇室あります。特養は日中の生活の場であり、一〇室の個室をユニットとして、ユニットごとにリビングと台所スペースのついたテーブルがあり、食事を共に摂ります。以前の見学先では、御飯をユニットごとに炊いている所がありました。ここは、地階で委託業者が作る食事を運ぶ方式でした。一階に4ユニット、2階に6ユニット、3階は認知症専用の4ユニットでした。日中は1ユニットに2〜3人の介護職員がつきますが、夜間は2ユニットに1人となり、看護師は3名常駐（夜間は不在）です。

◇入居者の生活……個室の広さは約8畳、ベッドと洗面台、エアコン、テレビ台をかねた物入れ、カーテンの設備がありました。トイレのある居室は約2割で、各ユニットに共同トイレを3箇所配置。入浴は週2回、大きな浴室には、手すり付の浴槽と車椅子のまま入浴できる浴槽が併設され、個別利用できる家庭と同様の浴槽や機械浴装置もありました。内科医が週1回来て診察・投薬、精神科医は隔週に1回来所、協力病院は国際親善病院（泉区西が丘）と戸塚共立第2病院です。

介護1〜5の人が、5ヶ所まで特養を選んで申し込みできます。横浜在住者は上大岡に特養申し込みセンターがあり、家族状況や緊急性が加味されて、入所順序が決まるようです。が、順番待ちが相当数いるようです。

◆介護老人保健施設「リハパーク舞岡」

特養から少し坂を下った場所にあります。◇介護老人保健施設とは……脳卒中・廃用症候群・認知症などによる個々の状態に応じて、在宅、または施設生活ができるように、生活機能向上を目指した集中リハビリテーションを行って、早期在宅復帰を目指す施設です。また、自立した在宅生活が継続できるように、介護予防を目的としての入所、通所デイケアや訪問リハビリテーションを行って、家族の介護負担を軽減する役目もあります。

◇施設の概要……1階はデイケアの人達が過ごす場所とパワーリハビリに使う器具類が並んでいました。2、3階は病気や障害の症状が安定して入院の必要はないものの、家庭に戻るには不安のある方々が、医学的管理下で看護・介護・リハビリテーションを受けて在宅や施設生活に戻るための入所施設で、こちらもユニット式でした。ショートステイは入所施設に空きがあれば受入れるとのこと。日帰りの通所リハビリ（介護度1〜5）と介護予防リハビリは、戸塚区、港南区、栄区

在住の方々対象に、送迎サービス付きで月曜から金曜日の十時から十六時十分まで実施。個別リハビリや集団のリハビリ体操、レクリエーションなどを行います。希望すれば入浴サービスも受けられ、足湯もありました。

◇リハビリ回数と費用……介護予防の通所リハビリは、厚生労働省が要支援1で週1回(月二千六百三十二円)、要支援2で週2回(五千四百九十九円)程度と定めているという。要介護の人々は週2回、理学療法士や作業療法士等の指導による個別リハビリやパワーリハビリ、散歩等を行い、費用は介護度によって月額七百二十六〜千三百七十五円です。

◇入所費用……ユニット居室の介護保険施設サービス費は、介護度によって月額約二万五千六百〜三万二千二百円、これに、居室費と食費が月千五百〜十四万円(所得によって変わる)ほど加わるようです。

◇感想……両施設とも新しくできて間もなく、廊下等が広々として明るく、好感が持てましたが、やはり住み慣れた自宅が一番よいという声も聞かれました。

日限山荘があつてよかった

最近ご参加くださる三人の方の原稿です。
◆私が日限山荘に行くようになった訳

河西 マキ

まず、簡単に私自身のことをお話します。本年十月で八十歳になりますが、六十歳まで会社勤めをしていたため、家は疲れを休める所で、掃除や台所仕事は大嫌いでした。それでも退職後は人並みに家事をしましたが、3

年前に主人を亡くし、近くに住んでいた娘一家が引っ越して手伝いに行く必要もなくなり、現在は1人暮らしの自由を楽しんでいます。そうになると、自分の食べたい物を食べた時に食べるという生活で、料理下手も手伝って食事がおろそかになり、これではいけないと思っている時に、「総ぐるみ新聞」を手にし、《九月三日より、日限山荘で火曜と金曜日に昼食を用意して皆様のお越しをお待ちしています》という記事が目飛び込んできました。夢かとはかりうれしくなり、南舞岡2丁目の住人でも食事をさせていただけなのかと電話で問い合わせ、早速九月三日から昼食をいただいています。

お蔭様で現在の私は足腰が達者です。そこで、日限山荘には十時頃に行つて、お掃除をさせてもらっています。他にも食事サービスをする団体はありますが、月1度や二か月に1度という程度で、週2回というのは破格です。これからもよろしく願います。

◆昨年日限山に来ました

近藤 キヌ

昨年春に主人の一周忌を済ませ、娘の住む日限山にきました。静かな住宅地でよい所ですが、ご近所の方々とはめったにお会いしません。いつも1人でぼんやりしていましたが、「何か習い事でもしたい」と娘に言うと、「日限山荘で何かしているようだから、訪ねてみたら」というので、お邪魔しました。

日限山荘の玄関で何回か声をかけると、「2階(どうぞ)」の声に恐る恐るあがると、ご婦人達が「よくいらつしやいました」と笑顔で迎えてくださり、何かと話しかけてくださいましたので、気分も落ち着きました。

ここでは、ボランティアの奥様方が作られるおいしい家庭料理を皆様いただき、食後はおしゃべりをしたり、歌を歌ったり、編物をしたりして楽しく過ごしています。日限山荘に行くようになって、寂しさも薄らぎ、元気が出てきました。また、いぶき会にも入会して、コーラス部やグランドゴルフ部の皆さんの仲間に入れていただきました。これからもよろしく願います。

◆日限山に引っ越して

高本 朕子

私は奈良で1人暮らしをしていましたが、昨年暮れに長男夫婦が心配して迎えにきたのを機に、日限山に越して同居を始めました。当初はとても不安でしたが、毎日1時間ほど散歩しながら、近所の散策を始めました。家の近くに「NPO総ぐるみ福祉の会、日限山荘」とあるのを見て、どのような会だろうと思つていました。子供が行つてみたらと勧めるのでお訪ねしたら、日限山地域の人達が健康で寝込まないよう、声を掛け合い、助け合うための週2回の手づくり昼食会と聞き、すばらしいと感動しました。食事をしながらお話ししたり、食後にはカラオケ等をしたりして楽しいものでした。夏前にはバザーに出す品物作りがいろいろ始まりました。

私も、元気な内にお役に立ちたいと若い頃取得した介護の資格を生かして、介護の仕事を手伝わせていただくことにしました。いぶき会にも入会して、コーラスと卓球を始め、積極性とやる気が出てきたことを痛感しています。地域の方と知合いの輪を広げて、残りの人生を楽しく生きて行きたいと思ひますので、よろしく願います。